

第四十三回 帝國議會 衆議院 實業教育費國庫補助法改正法律案委員會議錄(速記)第二回

大正九年七月七日午前十時二十分開議
出席委員左ノ如シ

横山寅一郎君

志賀和多利君

山田永俊君

松下禎二君

高柳淳之助君

舞田壽三郎君

八木逸郎君

若林徳懋君

三善清之君

上塚司君

齊藤宇一部君

中馬興丸君

浅賀長兵衛君

小橋藻三衛君

出席政府委員左ノ如シ

文部次官

南弘君

文部大臣

中橋德五郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

○實業教育費國庫補助法中改正法律案

○委員長(横山寅一郎君) ソレデハ是ヨリ開會致シマス、

初メニ政府委員ノ説明ヲ一應頤ヒマシテ、其上デ質疑ニ移

ルコトニ致シマス

○南政府委員 實業教育國庫補助法中改正法律案ハ、

前ノ冬ニ議會ニモ提出致シマシタモノト、全ク同「ナモノデ

アリマス、當時解散ノ爲メニ、遂ニ成立スルコトニ至ラナカッ

タノハ甚ダ遺憾アリマス、茲ニ特別議會が開カル、ニ至リ

マシテ、再ビ同ジ物ヲ提出シタ次第アリマス、一應提出ノ

理由ヲ申述ヘタイト思ヒマス、實業補習教育ノ發達改善ヲ

致シマス所ノ教員ハ、僅ニ小學校ノ教員ノ片手間ヲ以テ、

經營シテ居ルト云フ有様ニアリマス、幸ニ近來ハ是モ専任

教員モ統計ノ上ニ於テハ、約半數位ニ達シマシタ、是等ノ專

任教員ト申シマシテモ、實際ニ立至テ見マスレバ、眞ノ專

任教員ノ質ヲ備ヘタモノナルカト云フコトガ、一番ノ

必要デアルト思ヒマシテ、此度從來ノ實業學校ニ對スル所

ノ補助以外ニ、實業補習教育ノ獎勵ノ爲メニ、補助金ヲ府

縣ニ何スルト云フコトヲ計畫致シマシテ、冬ノ議會ニ提出シ

マシタノハ三十万圓ト致マシタガ、此度ハ是カラ實行致シマ

ス就テ、約半年分ト云フコトニシテ、豫算ハ組ンデアリマス

其標準ハ約府縣三十人、一人當りガ約六百圓ト云フ見積

リテ、總數五百人ニ對スル補助ト云フ見當デ出シタ次第

アリマス、尙ホ詳シイ事ハ、御質問ニ應ジテ御答ヲ致シマス

○松下禎二君 此金額ハ十五万圓デハナカニタノデスカ、

三十万圓デゴザイマス、ソレニ補助セラレル學校ノ數ハ今迄

ハ幾ラアタノニアリマスカ、尙又補助セラレタ結果得タ所

ノ成績ソレヲ一寸御尋致シマス

○南政府委員 一年分トシテ三十万圓ヲ要求シタノデア

リマス、今年ハ是カラノコトアリマスカラ、半年分ノ十五万

圓ヲ計上シタ、ソレカラ先程申上げマシタ通りニ、専任教員

獎勵ノ爲メニ何スルノハ、府縣ニ就テ約八十人ト云フ大體ノ

見當カラ、三十万圓ト云フモノ割出シタノデアリマス

○志賀和多利君 實業教育費國庫補助ノ第二條ノ實業學

校ニ對シテ補助金ヲ交付ス、此「實業學校」ト云フノハ、第

四條ニアリマス實業補習學校モ入シテ居ル譯アリマス

○山崎政府委員 御答シマスカ、第二條ノ實業學校ト云

フ中ニハ、補習學校モ解釋上含ミ居ル譯アリマス、併ナガ

ラ先程文部次官カラ御説明申上げマシタヤウニ、補習學校

ノ補助ハ、既設學校ガ一万以上アリマスカラ、其中カラ文

部省ニ直チニ選定スルト云フコトハ困難アリマスカラ、縣

ノ方ニ交付シヤウ、其爲メニ第六條ノ二ガ必要ニナル譯ア

アリマス

○志賀和多利君 今一應御尋シマス、第二條ニ依テ金額

ヲ補助シマスニ付テハ、矢張何カ訓令トカ、若クハ命令トカ

デ條件ヲ附シテ補助スル譯ニナルノデスカ

○山崎政府委員 補助條件ニ付キマシテハ、御尋ノ通り

一定ノ標準ヲ立テマシテ、省令デヤリマスカ、或ハ訓令デ致

シマスカ、兎ニ角其條項ヲ府縣ニ示シマシテ、其條項ニ依テ

スル規定ハ第七條デ設ケアルノデアリマス

○志賀和多利君 更ニ御尋致シマスガ、今日改正致シマ

ス第六條ノ二ニ「實業補習教育獎勵」ト書イテゴザイマス

ガ、若シ實業教育獎勵ノ必要ガアリマシテ、補習教育以外

ニ、又將來何カ補助ヲ要スルコトが出来テ參リマシタ場合ニ

於テハ、此六條ノ二ヲ改正シナケレバナラヌ必要ガ生スルト

思ヒマスガ、其點ヲ伺ヒケイ

○山崎政府委員 左様ゴザイマス、若シ是レ以外ニ互ル

場合ニハ別個ノ規定ヲ要スルコトニナリマス

○志賀和多利君 ソレアリマスト六條ノ二ヲ改正スル

場合ニ「補習教育」ト書キマセヌデ、「實業教育獎勵」ニ必要

ナルト書キマシテモ、補助スルニ就テ條件ヲ附シテヤルデア

リマセウカラ、一向内容ニ障リハナイヤウニ思フ、而シテ法文

育以外ニ獎勵金ヲ出ス場合ニモ、法律ヲ改正シナイデ済ム

コトニ相成ラウト思フノデアリマスガ、矢張「補習教育」ト付

ケナケレバナラヌ必要ガアリマセウカ、ソレトモ「補習」ノ一字ニ

ヲ除キマシテ、實業教育獎勵ノ補助金ヲ出スト云フコトニ

シマシテモ、苦シクアリマセウカ、其點ヲ一ツ伺ヒタ

○山崎政府委員 一般ノ實業教育ニ關スル補助費ノ方

ハ、第二條デ詰マリ補習學校以外ノ、農工商ノ實業學校ニ

對スル補助ヲ交付ガ出來ルノアリマス

○志賀和多利君 學校以外ノ場合ハ…

○山崎政府委員 府縣ニ縛メテ補助ヲスル必要ハ、先ツ

補助學校位井ノコトデアリマシテ、一般實業教育ニ就テ、特

ニ國庫カラ府縣へ出スト云フコトハ、一寸マダ今日豫想致

シテ居リマセヌ

○志賀和多利君 將來ハ…

○山崎政府委員 サウ云フ必要ガ將來起レバ別デアリ

スガ、一般實業教育ニ就テモ補助ノ途ガアリ、補習教育ニ

就テハ、府縣ニ補助ノ途ガアレバ、念ノ爲メニモウ一箇

條申上ケマスガ、文部省ニ直接實業教育ノ獎勵上、支出ヲ

スル規定ハ第七條デ設ケアルノデアリマス

○山崎政府委員 サウ云フ必要ガ將來起レバ別デアリ

スガ、一般實業教育ニ就テモ補助ノ途ガアリ、補習教育ニ

就テハ、府縣ニ補助ノ途ガアレバ、念ノ爲メニモウ一箇

條申上ケマスガ、文部省ニ直接實業教育ノ獎勵上、支出ヲ

スル規定ハ第七條デ設ケアルノデアリマス

○志賀和多利君 私ハ現在差友ガ起ルカ、起ラヌカノ問

題ヲ伺フノデアリマセヌ、將來補習教育以外ニ、何カ特別ナ

實業上ノ事項ガ發生シテ、獎勵ヲ要スルヤウナ場合ニナッタ

時ニ、此法文ヲ復タ改正シナケレバナラヌヤウニナリハセヌ

カ、ソレヨリハ今少シ之ヲ廣クシテ置イテ、第二條ハ學校ノ

方ノ補習、第六條ノ二ハ學校以外ノ實業教育獎勵ノ項目

ニシテ置イタ方ガ、將來ノ爲メニ宜クハナイカト云フコトヲ

伺タ、別ニ御差支ナイト云フ御意見デアリマセウカ、又補

習教育ト限ラナケレバナラヌ必要ガアルノデスカ、其點ヲ伺

テ置ケバ宜シイノデス

○三善清之君 此六條ノ二項ヲ特ニ設ケラレタノ、實業

補習教育ノ爲メニ十五万圓ヲ、茲ニ臨時部デ今回ノ議案

ニ出シテアルモノハ、將來道府縣ニ對スル實業補習學校ニ

交付ノ爲メニ、之ヲ置カレタノアラウト私ノ想像スル、サウ

ス、特ニ此爲メニ設ケラレタモノト思ヒマスカ、政府委員ニ御尋致シマス

○山崎政府委員 左様デゴザイマス

○三善清之君 ソレデハ是デ宣シイ譯デス

○松下禎二君 此教育費ヲ補助セラル、ト云フコトハ、非

常ニ好イ事デアリマスガ、僅許リノ金ヲ多數ノ學校ニ割當

テ、補助シテハ、其成績が面白クナカラウト思フノデス

ガ、デアリマスカラシテ、政府ノ方デ將來見込ノアルト思ハ

レル學校ニハ、十分ナル金ヲ補助セラレテ、ソレカ完備シタ

曉ニ、他ノ學校ニ及ボスヤウナ方針ヲ採ラレタラ、却テ成績

ノ上ニ於テ見ルベキモノガ出來ハセヌカト思フノデス、先程

補助ヲセラル、爲メニ、ドレダケノ成績が舉々カト云フコト

ヲ承クタノデアリマスガ、ソレニ對シテ御答カアリマセヌガ、併

シ私ノ考ヘマス所ニ依リマスレバ、三十万圓位ノ僅カノ金

ヲ各縣ニ割付ケテ、更ニ各學校ニ割付ケタ場合ニ於テハ、

其補助額ハ極メテ僅少デアラウト思フ、是位デハ到底其學

校ノ内容ヲ充實スルコトハ出來ナイ、唯ダ一時凌ニ過ギナ

イノアリマスカラ、政府ノ方ニ於キマシテ、相當ノ學校ト

認メラル、モノニ對シテ、力ヲ專ラニセラレテハ如何ナモノデ

アラウカト思ヒマス、ソレヲ一寸伺ヒマス

○淺賀長兵衛君 私ハ實ハ主務大臣ノ出席ヲ期待シテ

居ダタノデス、ソレハ他デモアリマセヌガ、實業教育ノ方針ニ

關シテ、聊カ質問シテ見タイト思フ、主務大臣ハ實業補習

教育ヲ、將來義務教育トスベキ御見込デアルカ否ヤ、其方針

如何ヲ承リタイト思フ、然ニ御出席ガアリマセヌカラ、此

點ニ就テハ其他ノ政府委員カラ御答ヲ願ヒタイト思ヒマ

ス、是ガ所謂總論デアリマス、堵テ此改正法案中ノ第七

條ノ從來豫算定額ノ八分ノ一ト云フノデス、之ヲ一部

ト漠然トシタ所以如何、却テ是ハ弊害ヲ生ズルヤウニナリハ

セヌカト思ハレル、此點ニ就テ明確ナ御答ヲ得タイ

○南政府委員 實業教育ヲ義務教育トスル所ハ、歐米

ニ於テ往々見タル所デアリマス、若シ將來日本ノ教育其他

ノ事が發展スルニ從ヒマシテ、結局ハサウナルコトデアラウ

想像致シマスケレドモ、今日ニ於テハマダ義務教育延長問題本體ニ於テ——政府ハ之モ實行致シタイ意思デハ居リ

ハ實業補習教育ヲ義務教育ト爲サルト云フ御意見デスカ

○淺賀長兵衛君 サウデス

希望ヲ持シテ居リマス、ソレカラ第七條中ノ「八分ノ一」ト云フコトヲ一部ニ改メルノハ弊害ガアルト云フ御説ハ、一應

御尤ノヤウニモ伺ヒマス、併シ今日ノ所ニ於キマシテ「八分

ノ一」ト斯ウ嚴格ニ制限シテアル爲メニ、實際ノ運用ニ於テ

差支ヲ生ズル場合ガ起テ參リマスカラ、政府ハ其點ニ就テ

ハ十分ニ警戒ヲ加ヘマシテ、決シテ弊害ノ起ルヤウナコトハ

致サヌ積リデアリマス

○高柳淳之助君 今ノ政府委員ノ説明デハ、「八分ノ一」

以内ト限定シテ置カヌデモ、「一部」トシテ置イテモ、弊害ガ無

イト云フ御説デアリマスケレドモ、サウ云フヤウニ漠然トシテ

置キマスト、官公立實業學校ニ對シテ補助ヲスル金額ガ、

或ハ少クナリハセヌカト云フ疑ガアリマス、故ニ前ノ趣旨ニ

基キマシテ「八分ノ一」デ若シ足ラヌト云フナラバ、之ヲ少シ

引上げテモ、相當ニ制限ヲ加ヘテ置ク方が宜シイカト思ヒ

マス、ソレニ就テノ御意見ヲ伺ヒタイ

○南政府委員 相當ニ緩ミヲ付ケテ戴ケバ、實際ノ運用

ニ於テ一向差支ナイヤウニナリマシテ宜シウゴザイマスガ、併

シ第七條ノ「八分ノ一」ヲ一部ト改メマシテモ、決シテ

政府ハソレニ、政府ノ費用ニ使フト云フ意思デモ何デモナ

イノアリマス、實ノ矢張此補助金ノ外、公立私立實業學

校教員ノ養成、其他實業教員獎勵上必要ト認メル費用ニ

充テル爲メ目的ハ矢張實業教育獎勵ノ爲メニ支出スルノ

補助ノ趣意ニ反スルヤウナコトハ、固ヨリ致サヌ積リデアリ

マスカラ、其點ハ多少大目ニ見テ戴キタイ

○齋藤宇一郎君 私ハ少シ遅レテ參リマシタカラ、前ノ事

ハ判リマセヌガ、此教育ノ事ハ非常ニ大切な事デアリマシ

テ、中々問題モアリ、意見モアルコトデアリマスガ、今問題ニ

ナツテ居リマスノハ、極ク教育ノ一部ノ問題ニナツテ居リマス

ケレドモ、教育ハ即チ思想ニ大關係ヲ有モノデアリマシ

テ、此思想ノ統一ヲ圖リ、國民ノ健全ナル發達ヲ期スルニ

ハ、教育ハ頗ル確乎タル方針ノ下ニ、最も整然タル組織ノ

下ニ、一絲荼レザル考ヲ以テ、青年が進ンテ行クヤウニ教育

シテ行カクテハナラスト思ヒマス、然ルニ今日ハ色ニ議

スカラ、中々錯雜シテ居ル、吾々が書生ヲ仕立テルニシテモ、

如何ナル方向ニ、如何ナル學校ヲ潛ラシテ行クナラバ宜イ

カト云フコトハ、中々迷ノ一ツデアル、乃チ今問題ニナツテ居ル此補習教育ノ如キ、又實業教育ノ如キモ、實ニ種々雜多ナルモガアツテ種々雜多ナル獎勵補助ナドヲヤッテ居ルヤ

ウナコトニナツテ居リマスガ、ドウカ此場合ニ於テ大臣ガ御出

席ニナツテ、我國ノ教育ハ斯ノ如キ順序ニ依テ、斯ノ如キ抱

負ニ依テ、斯ノ如キ理想ニ依テ進ムノデアッテ、其道行トシ

○南政府委員 ソレハ或ハ見方ニ依テ違フカモ知レマセヌ

ガ、私共ノ見ル所ニ依リマスレバ、實業學校ガ免ニ角今日ノ

如ク發達シマシタノハ、此補助金ノ力ガ非常ニ與シテ力アル

ト云フコトヲ私ハ信ジテ疑ハヌノデアリマス、其點ニ就テハ、

十分ニ效果ガアツタモノト確信致シテ居リマス

○三善清之君 私モ實ハ政府ノ教育ニ關スル御方針ニ就テ御尋シタインデアリマスガ、併シ此場合ハ唯ダ實業教

育ノ此法案ニ就テノ改正ノ爲メニ、此委員會ヲ御開ニナツ

テ居ルノアリマスカラ、先以テ此事ヲ先ニ御進メニナリマ

シテ、尙ホ餘裕ガアリマスレバ、ドウカ伺ヒタイト思ヒマス、而シテ此半箇年度十五万圓ト云フモノデ、十分ノ御見込ガアルノデアリマセウカ、或ハ全體ノ豫算ノ上カラハ少イケレドモ、先ツ此位ヲ我慢シテ置クト云フ御趣意テアリマセウカ

是ダケ参考ニ承テ置キタイ

○南政府委員

一年二三十万圓デ政府ハ満足シテ居ル

次第ハナインアス、兎ニ角ニ今日最モ缺ケテ居ル所ノ專任教員ヲ得ルト云フコトハ實業補習教育ノ盛ニナルカ、成績ガ舉ルカ舉ラヌカト云フ分ケ目デアルト、斯ウ考ヘマシテ、

取敢ヘズ此専任教員ノ設置ニ對シテ補助ヲスル、ソレニ就キマシテハ先ツ今日ノ所三十五万圓モ出シテ其成績ヲ見タイ、若シ是ガ十分ノ成績ガ舉リマシテ、將來益、此補助ノ必要ガアルト云フコトニナリマスレバ、或ハ増額ノコトヲ御願スルカモ知レマセヌ

○松下禎二君 一寸伺ヒマスガ、學校ニ依リマシテ、金額ニハ多寡ノ別ガアルダラウト思ヒマスルガ、平均一校ニ付テドノ位御交付ニナッタノアリマスカ、ソレヲ承リタイ

○山崎政府委員 現在ノ所デスカ

○松下禎二君 ハイ

○志賀和多利君 ソレハ表カ何カニシテ配付シテ戴キタイ

○松下禎二君 大凡ドノ位ト云フコトガ判シテ居レバ宜

○山崎政府委員 詳シイ事ハ表ヲ後デ御廻シ致シマスガ、

現在ハ甲種乙種ノ實業學校ニ補助ヲ致シテ居リマスガ、其

状況ヲ簡単ニ此所ア申上ダマスト、固ヨリ學校ノ大小、又

其他ノ事情ニ依リマシテ、區々ニナッテハ居リマスガ、大體ノ

事ハデス、工業ニ屬スル學校ハ、甲種程度ノ學校ガ約二千

圓内外ニナッテ居リマス、ソレカラ農業ノ甲種程度ノ學校ハ

千圓内外ニナッテ居リマス、ソレカラ商業ハ平均致シマシテ、

甲種程度デ八百圓位ニナッテ居リマス、ソレカラ乙種ノ學校ハソレヨリズット低イノアリマス、乙種ノ農業學校アタリデ

ハ、多ク三百圓内外ト云フコトニナッテ居リマス、ソレカラ商

業、水産ハ少シ性質ガ違ヒマスノア、商船學校ハ約二千圓

乃至三千圓ト云フ位ニナッテ居リマス、マア大體ノ見當ヲ申

上ダマスレバソンナモノデス、詳シイ事ハ表ヲ以テ御廻シ致

シマス

○委員長(横山寅一郎君) 唯今齋藤君ヨリ大臣出席ノ

御希望モアリマシタガ、ソレハ大臣ノ御都合ヲ伺ヒマシテ其

都合ノ判ルマデ質問ハ質問トシテ繼續スルコトニ致シマセ

ウ

○齋藤宇一郎君 ドウカサウ願ヒタイ

○松下禎二君 三百圓乃至三千圓位キノ補助額デハ、到

底吾ニ期待スル如キ完全ナル教育ヲ施スコトハ出来ナイト思ヒマス、其位ノ少額ノ補助ヲスルナラバ、補助ヲセザルヨリ優レルカ知リマセヌガ、寧ロ其補助學校ノ數ヲ減ジテ、將

来見込ナル主ナル學校ヲ、特ニ依怙ノ沙汰ナク擇シテ、之ヲ爲サレテハ、吾々期待スルヤウナ效果ヲ見ルコトハ出來

ニ全力ヲ注イダラドウデアリマスカ、今日ノ如ク總花的補助

ナイト思ヒマス

○南政府委員 唯今ノ御意見ハ、有益ノ御意見ト拜聴

致シマスカラ、將來ノ参考ニ致シマス

○高柳淳之助君 私ハ大反対デアリマス、甲種乙種ノ實業學校ハ、多ク縣費ニ依テ支出サレテ居リマスガ、其等ノ學校ハ、經濟ニシレ程ノ不足ヲ生ジナインデアリマス、最モ補助ヲ受クベキ必要アルモノハ、地方ノ補習學校デアリマス、ソレガ爲メニ第六條ノ二ガ後トテ加ヘラレタ譯デアルト思ヒマス、此點ヨリ此補助金額ハ成ルベク金額ヲ少クシテ、數多ノ補習學校ニ與ヘルコトヲ希望致シマス、サウスルト私ノ希望ト、先程ノ御方ノ希望ト相違致シマスカ、政府委員ハドウ云フ風ニオヤリニナル御考デアリマス

○南政府委員 先程御答致シマシタノハ、松下サンノ説モ有益ト承ダ、併シ必ズシモ政府ハ之ニ從フトハ申シマセヌ、唯ダ將來ノ参考ニ供スルト申シタノアリマス

○若林德懋君 實業補習學校ノ數ハ、一縣ニ付テ十校位半補助スルト云フ御説明デアリマスガ、私ハマダ澤山アリハシナイカト思フ、又其種類モ澤山アルデアリマセウ、農工商ノ補習學校ニ對スル補助ノ割合等ハ、ドウ云フコトニナルノアリマスカ

○山崎政府委員 實業補習學校ノ數ハ、現在一万三千程アリマス、其中補助金ヲ交付スルモノハ、一縣十校位キトキ次官ガ先刻申サレマシタノハ、三十万圓ヲ割出シタ計算ノ基礎ハ、大凡斯ウ云フ所ニ置イテアルト云フ話デアテ、實際縣ガ受ケマス場合ハ、縣自身ア或程度ノ金ヲ支出シテ居ルノモアリマスカラ、或ハ十校ノ積リカ二十校ニモナリ得ンハ、多ク三百圓内外ト云フコトニナッテ居リマス、ソレカラ商譯デアリマス、併ナガラ二十校三十校ニシテモ、決シテモ十分トハ申サレマセヌガ、茲ニ考ヘナケレバナラヌ事ハ、法律改正ノ主タル目的ハ、専任教員ノコトデアリマス、専任教員ノ供給ハ多イ程宜シガ、供給力ノ自然的制限モアリマスカラ、今日大體此限度テ補助ヲ出シタラバ、相當ノ效果ヲ舉ゲ得ルト考ヘマス、ソレカラ農工商ノ獎勵デアリマスガ、ソレハ大多數ハ農業補習學校デアリマス、一万三千ノ補習學校ノ中、農業補習學校ト銘ヲ打テ居ルノガ九千アリマスカラ

隨テ補助ヲ受ケルモノハ農業が多イ譯デアリマス、併シ都會地ニ於テ、商工業ノ補習學校ノ發達ヲ促サケレバナリマセヌカラ、此方ニモ或程度ノ補助ハ行渡ルモノト信ズルノ

ト云フ御詰デアリマシタガ、私ノ考グハ、専任教員ノ得ラレ

ナイト思ヒマス

○山崎政府委員 府縣ヲ交付シマスルモノハ、一校當リ

補助金ハドノ位デアリマスカ、ソレハ學校ノ經費、又各縣ノ

事情ニ依テ此決定ノ餘裕ヲ與ヘタイト思ヒマス、額ヲ限り

タクナインデアリマス、併シ三十圓トカ四十圓トカ云フ端金

ソレガ爲メニ第六條ノ二ガ後トテ加ヘラレタ譯デアルト思ヒ

マス、此點ヨリ此補助金額ハ成ルベク金額ヲ少クシテ、數多

ノ補習學校ニ與ヘルコトヲ希望致シマス、サウスルト私ノ希望ト、先程ノ御方ノ希望ト相違致シマスカ、政府委員ハド

ウ云フ風ニオヤリニナル御考デアリマス

○南政府委員 先程御答致シマシタノハ、松下サンノ説モ

有益ト承ダ、併シ必ズシモ政府ハ之ニ從フトハ申シマセヌ、唯ダ將來ノ参考ニ供スルト申シタノアリマス

○山崎政府委員 府縣ヲ交付シマスルモノハ、一校當リ

補助金ハドノ位デアリマスカ、ソレハ學校ノ經費、又各縣ノ

事情ニ依テ此決定ノ餘裕ヲ與ヘタイト思ヒマス、額ヲ限り

タクナインデアリマス、併シ三十圓トカ四十圓トカ云フ端金

ソレガ爲メニ第六條ノ二ガ後トテ加ヘラレタ譯デアルト思ヒ

マス、此點ヨリ此補助金額ハ成ルベク金額ヲ少クシテ、數多

ノ補習學校ニ與ヘルコトヲ希望致シマス、サウスルト私ノ希望ト、先程ノ御方ノ希望ト相違致シマスカ、政府委員ハド

ウ云フ風ニオヤリニナル御考デアリマス

○南政府委員 先程御答致シマシタノハ、松下サンノ説モ

有益ト承ダ、併シ必ズシモ政府ハ之ニ從フトハ申シマセヌ、唯ダ將來ノ参考ニ供スルト申シタノアリマス

○山崎政府委員 府縣ヲ交付シマスルモノハ、一校當リ

補助金ハドノ位デアリマスカ、ソレハ學校ノ經費、又各縣ノ

事情ニ依テ此決定ノ餘裕ヲ與ヘタイト思ヒマス、額ヲ限り

タクナインデアリマス、併シ三十圓トカ四十圓トカ云フ端金

ソレガ爲メニ第六條ノ二ガ後トテ加ヘラレタ譯デアルト思ヒ

マス、此點ヨリ此補助金額ハ成ルベク金額ヲ少クシテ、數多

ノ補習學校ニ與ヘルコトヲ希望致シマス、サウスルト私ノ希望ト、先程ノ御方ノ希望ト相違致シマスカ、政府委員ハド

ウ云フ風ニオヤリニナル御考デアリマス

○南政府委員 先程御答致シマシタノハ、松下サンノ説モ

有益ト承ダ、併シ必ズシモ政府ハ之ニ從フトハ申シマセヌ、唯ダ將來ノ参考ニ供スルト申シタノアリマス

○山崎政府委員 府縣ヲ交付シマスルモノハ、一校當リ

補助金ハドノ位デアリマスカ、ソレハ學校ノ經費、又各縣ノ

事情ニ依テ此決定ノ餘裕ヲ與ヘタイト思ヒマス、額ヲ限り

タクナインデアリマス、併シ三十圓トカ四十圓トカ云フ端金

ソレガ爲メニ第六條ノ二ガ後トテ加ヘラレタ譯デアルト思ヒ

約ヲ爲シ得ルト云フガ如キ、極メテ範囲ヲ廣クサレタ、此事ハ憲法及ビ會計法ノ關係ヲ、餘程論議サレツ、アル時ニ改正サレタノデアリマスガ、此補助ノ上ニ於テモ、八分以内トカ幾ラ以内ト云フノデアリマスカラ、自由裁量ノ餘地ガアルガ、併シ八分ト云フヤウニ限定サレテ居ル、今回一部トサレル以上ハ、一部ト云フコトハ全部デナリ限リハ、是ハ一部ト云ヒ得ル、所謂自由裁量ノ餘地ガ廣クナッタト云フコトニナルガ、是ハ何故斯様ナ事ニ爲サレルカ、此通り八分以内ト云フコトヲ決メルト云フナラバ、所謂限定セザル一部ト云フノデナクテ、一割トカ一分ト云フ一分ナラ免ニ角、之ヲ自由裁量ノ極メテ廣キ一部ト云フコトニセラレタト云フコトニ就テハ、却テ法治國ノ仕事ラスト云フ精神ニ恃タコトニナッテ來ルノデナイカ、斯様ナ事ガ疑ハレルノデアリマスガ、御尋シタイノハ、所謂基礎ノ堅實ナルモノデナケレバ、吳レナイト云フ――獎勵スルノデアルカラ、堅實ナルモノデナクテハ、吳レナイト云フヤリ方ヲサレルノカ、或ハ必要デアルガ基礎ガ弱イガ爲メニ、之ニ力ヲ加ヘテ吳レルト云フノテ補助サレルト云フ精神カ、若クハ此ニツノモノヲレ――調和シタ遣方ヲサレルノカ、何等カ――ノ標準ガ立タナイト云フト、ソコニ却テ弊害ヲ生ジハシナイカト云フコトヲ疑フノデアリマス、故ニ一部ト云フコトニ修正サレル理由ヲ――伺ヒタノデアリマス、私ハ遲刻シマシタカラ重複スルカ知レマセヌガ、若シ重複シタラ簡単ニ願ヒマス

○山崎政府委員 第八條ノ改正ニ就テ、從來八分ノ一

以内トアルノヲ、一部ト改メル――第七條デアリマス、此點ニ就キマンテ、先程クラ段々御質問ガアリマシテ、文部次官ヨリ大體ノ説明ガアッタノデアリマスガ、少シク詳シク申シマシテ御諒解ヲ得タイト思ヒマス、此第七條ノ實業教育獎勵上必要ナル費用ニ云々ト云フノハ、是ハ一般ノ學校ニ對シマスル補助トカ、或ハ補習教育ニ對スル補助ト云フモノ以外外ノ實ハ費用アリマシテ、今日使シテ居リマスノハ、教員ノ講習ノ費用、及び實業教育養成所ノ生徒ノ給費、學資金ノ給與デアリマス、其ノニツノ支出ヲ致シテ居リマス、此金額ガ從來ハ講習ノ費用ハ今日別ニ異動ハ起リマセヌガ、教員養成所ノ生徒ノ給費ニ要スル金額ガ餘程多クナシテ居リマス、尤モ本年度内ハ――今迄八分ノ一ミシタノヲ、今年度ヨリ二十五圓ニ、物價ノ狀況等ニ鑑ミシテ増額豫算ヲ提出致シテ居リマス、其等ノ關係カラ致シマシテ、教員養成所ノ生徒ノ給費ニ要スル金額ガ餘程多クナシテ居リマス、尤モ本年度内ハ――今迄八分ノ一ミシタノヲ、來年度以後ハ、八分ノ一ヲ超過スルト云フコトニナルガ、來年度以後ハ、八分ノ一ヲ超過スル減ジテ此方ニ持シテ來ルト云フ意味、ナク、補助費トシテ唯タ豫算ノ款ニ於テハ實業教育費ノ款デアリマスガ、項

別ノ豫算ヲ増スト云フコトニナルノデアリマシテ、決シテ補助費ヲ此方ニ持シテ來ルト云フ譯デナイノデアリマスカラ、ソコハ御諒解ヲ得タイト思ヒマス、即チ左様ナ事デ八分ノ一ト云フコトヲ超過スルコトニナルカ、法律ヲ此機會ニ於テ改正シタイト云フノハ、詰マリ八分ノ一ト云フコトガ、ソレハエラシタノデアリマスカラ、是カラ矢張議會ニ豫算トシテ提案スルノデアリマスカラ、弊害ハ起ルマイト考ヘテ、此機會ヲ以テ資ヲ増スト云フ場合ハ、ソレニ豫算ヲ盛テ御協賛ヲ仰クノデアリマシテ、別ニ文部省ガ行政處分ニ依テ勝手ニ使フト云フノデアリマセヌガ、是カラ矢張議會ニ豫算トシテ提案スルノデアリマスカラ、弊害ハ起ルマイト考ヘテ、此機會ヲ以テ八分ノ一ヲ改メタイト云フ考デアリマス、ソレカラ前段ニ御尋ノ補助ノ標準デアリマスカラ、是ハキメント甲ノ標準ニ依ルカ、乙ノ標準ニ依ルカト云フコトヲ申上ケルコト、餘程困難ナ事デアリマシテ、大體ニ於テハ小橋サンノ御話ノ通リニ凡ソノ標準ヲ立シテ居リマス、例ヘバ經費ノ少イ商業學校トク、或ハ女子ノ徒弟學校ト云フヤウナモノハ、設立者ノ負擔ノ五分内外、ソレカラ工業學校アリリハ設立者ノ負擔が多イカラ、一割二三分ノ見當アヤンテ居リマシテ、決シテ不公平ノナイヤウニシタイト思ヒマス、併シ場合ニ依テハ、豫算ノ關係モアリマスカラ、其標準ニ多少ノ斟酌ヲ加ヘルコトハアルノデアリマス、併ナガラ大體ハ小橋サンノ言ハレルヤウニ、凡ソノ標準ヲ立シテ補助ヲヤンテ居リマス、斯ウ御諒解ヲ願ヒタノ次第アリマス

○委員長（横山寅一郎君）先刻齊藤サンカラ御話ノ大臣ガ御出席ニナリマシタガ――

○齊藤宇一郎君モウ一度質問ノ趣旨ヲ申シマス、現政

府ノ教育ノ設備ニ關スル御方針ハ、私共未ダ承ッタコトガ

ナシ、此前ノ議會ニ於テ文部大臣ハ、高等敎育機關ノ不足

ヲ感ズル、即チ學生ガ入學スルコトガ出來スシテ、大分失望

落膽、之ガ爲メニ危険思想マテモ胚胎シハセヌカ、サウ云フ虞

モアハシ、成ベク敎育ニ便宜ヲ與ヘナケレバナラスト云フ御

趣意ニ於テ、非常ナル大計畫ヲ御立テニナシテ、サウシテソレ

ガ所謂高等教育機關ノ一部テアリマシテ、全體ニ亘テノ

教育方針殊ニ最モ大切ナル所ノ國民敎育ニ對スル御方針

御抱負ト云フモノハ、未ダ承ッタコトガナシ、今誰方カラノ御

質問ニ對シテ、文部次官ノ御答辯ニ依レバ、將來ハ義務敎

育ヲ八年ニスル積リデアル、而シテ其中ニ實業敎育ニ義務

教育モ施スト云フコトハ、將來ニ於テ必ず實現スベキ事デア

ラウ、斯ウ云フヤウナ御説明モ承ハシテアリマス、又世界

ノ義務敎育ノ年限ノ統計表ヲ見ルト、少クモ八年ニナシテ

居ル、日本モ世界ノ強國ノニナレバ、早晚八年ニシナケレ

バナラヌト云フヤウナ、頗ル簡單ナル說ヲ唱ヘテ居ル人モア

ルヤウデアリマス、然ルニ教育ノ年限及義務教育ノ年限ノ

如キハ、ソシナ統計表ノ數字ガ平均何程ニナルト云フ、簡單

ナ問題デナイト私ナドハ思フノデアリマシテ、而モ八年ニシテ

見タ所デ、其中ノ六年ハドウ云フ教育ヲスル、加フル所ノ二

年ハドウ云フ教育ニスルト云フコトハ、重大ナル是ハ問題デ

アラウト思ヒマス、又各種ノ教育機關ガアリマスガ、苟モ國

民ガ子弟ヲ教育スル上ニ於テ、其如何ナル系統ヲ踏ンデ

行シタラバ、所謂成ルベク短キ時間ヲ以テ必要ナル教育ヲ

施シ得ルカ、斯ウ云フ事ノ如キハ、國民トシテ又國家經濟ノ

上カラ申シマシテ、重大ナ問題デアリマシテ、今日迄ノ教育

難ナ事デアリマシテ、大體ニ於テハ小橋サンノ御話ノ通リニ

凡ソノ標準ヲ立シテ居リマス、例ヘバ經費ノ少イ商業學校ト

ク、或ハ女子ノ徒弟學校ト云フヤウナモノハ、設立者ノ負

擔ノ五分内外、ソレカラ工業學校アリリハ設立者ノ負擔が

多イカラ、一割二三分ノ見當アヤンテ居リマシテ、決シテ不

公平ノナイヤウニシタイト思ヒマス、併シ場合ニ依テハ、豫

算ノ關係モアリマスカラ、其標準ニ多少ノ斟酌ヲ加ヘルコ

トハアルノデアリマス、併ナガラ大體ハ小橋サンノ言ハレルヤ

ウニ、凡ソノ標準ヲ立シテ補助ヲヤンテ居リマス、斯ウ御諒解ヲ願ヒタノ次第アリマス

○委員長（横山寅一郎君）先刻齊藤サンカラ御話ノ大臣ガ御出席ニナリマシタガ――

○齊藤宇一郎君モウ一度質問ノ趣旨ヲ申シマス、現政

府ノ教育ノ設備ニ關スル御方針ハ、私共未ダ承ッタコトガ

ナシ、此前ノ議會ニ於テ文部大臣ハ、高等敎育機關ノ不足

ヲ感ズル、即チ學生ガ入學スルコトガ出來スシテ、大分失望

落膽、之ガ爲メニ危険思想マテモ胚胎シハセヌカ、サウ云フ虞

モアハシ、成ベク敎育ニ便宜ヲ與ヘナケレバナラスト云フ御

趣意ニ於テ、非常ナル大計畫ヲ御立テニナシテ、サウシテソレ

ガ所謂高等教育機關ノ一部テアリマシテ、全體ニ亘テノ

教育方針殊ニ最モ大切ナル所ノ國民敎育ニ對スル御方針

御抱負ト云フモノハ、未ダ承ッタコトガナシ、今誰方カラノ御

質問ニ對シテ、文部次官ノ御答辯ニ依レバ、將來ハ義務敎

育ヲ八年ニスル積リデアル、而シテ其中ニ實業敎育ニ義務

教育モ施スト云フコトハ、將來ニ於テ必ず實現スベキ事デア

ラウ、斯ウ云フヤウナ御説明モ承ハシテアリマス、又世界

ノ義務敎育ノ年限ノ統計表ヲ見ルト、少クモ八年ニナシテ

居ル、日本モ世界ノ強國ノニナレバ、早晚八年ニシナケレ

バナラヌト云フヤウナ、頗ル簡單ナル說ヲ唱ヘテ居ル人モア

ルヤウデアリマス、然ルニ教育ノ年限及義務教育ノ年限ノ

如キハ、ソシナ統計表ノ數字ガ平均何程ニナルト云フ、簡單

ナ問題デナイト私ナドハ思フノデアリマシテ、而モ八年ニシテ

見タ所デ、其中ノ六年ハドウ云フ教育ヲスル、加フル所ノ二

年ハドウ云フ教育ニスルト云フコトハ、重大ナル是ハ問題デ

アラウト思ヒマス、又各種ノ教育機關ガアリマスガ、苟モ國

民ガ子弟ヲ教育スル上ニ於テ、其如何ナル系統ヲ踏ンデ

行シタラバ、所謂成ルベク短キ時間ヲ以テ必要ナル教育ヲ

施シ得ルカ、斯ウ云フ事ノ如キハ、國民トシテ又國家經濟ノ

上カラ申シマシテ、重大ナ問題デアリマシテ、今日迄ノ教育

難ナ事デアリマシテ、大體ニ於テハ小橋サンノ御話ノ通リニ

凡ソノ標準ヲ立シテ居リマス、例ヘバ經費ノ少イ商業學校ト

ク、或ハ女子ノ徒弟學校ト云フヤウナモノハ、設立者ノ負

擔ノ五分内外、ソレカラ工業學校アリリハ設立者ノ負擔が

多イカラ、一割二三分ノ見當アヤンテ居リマシテ、決シテ不

公平ノナイヤウニシタイト思ヒマス、併シ場合ニ依テハ、豫

算ノ關係モアリマスカラ、其標準ニ多少ノ斟酌ヲ加ヘルコ

トハアルノデアリマス、併ナガラ大體ハ小橋サンノ言ハレルヤ

ウニ、凡ソノ標準ヲ立シテ補助ヲヤンテ居リマス、斯ウ御諒解ヲ願ヒタノ次第アリマス

○委員長（横山寅一郎君）先刻齊藤サンカラ御話ノ大臣ガ御出席ニナリマシタガ――

○齊藤宇一郎君モウ一度質問ノ趣旨ヲ申シマス、現政

府ノ教育ノ設備ニ關スル御方針ハ、私共未ダ承ッタコトガ

ナシ、此前ノ議會ニ於テ文部大臣ハ、高等敎育機關ノ不足

ヲ感ズル、即チ學生ガ入學スルコトガ出來スシテ、大分失望

落膽、之ガ爲メニ危険思想マテモ胚胎シハセヌカ、サウ云フ虞

モアハシ、成ベク敎育ニ便宜ヲ與ヘナケレバナラスト云フ御

趣意ニ於テ、非常ナル大計畫ヲ御立テニナシテ、サウシテソレ

ガ所謂高等教育機關ノ一部テアリマシテ、全體ニ亘テノ

教育方針殊ニ最モ大切ナル所ノ國民敎育ニ對スル御方針

御抱負ト云フモノハ、未ダ承ッタコトガナシ、今誰方カラノ御

質問ニ對シテ、文部次官ノ御答辯ニ依レバ、將來ハ義務敎

育ヲ八年ニスル積リデアル、而シテ其中ニ實業敎育ニ義務

敎育モ施スト云フコトハ、將來ニ於テ必ず實現スベキ事デア

ラウ、斯ウ云フヤウナ御説明モ承ハシテアリマス、又世界

ノ義務敎育ノ年限ノ統計表ヲ見ルト、少クモ八年ニナシテ

居ル、日本モ世界ノ強國ノニナレバ、早晚八年ニシナケレ

バナラヌト云フヤウナ、頗ル簡單ナル說ヲ唱ヘテ居ル人モア

ルヤウデアリマス、然ルニ教育ノ年限及義務敎育ノ年限ノ

如キハ、ソシナ統計表ノ數字ガ平均何程ニナルト云フ、簡單

ナ問題デナイト私ナドハ思フノデアリマシテ、而モ八年ニシテ

見タ所デ、其中ノ六年ハドウ云フ教育ヲスル、加フル所ノ二

年ハドウ云フ教育ニスルト云フコトハ、重大ナル是ハ問題デ

アラウト思ヒマス、又各種ノ教育機關ガアリマスガ、苟モ國

民ガ子弟ヲ教育スル上ニ於テ、其如何ナル系統ヲ踏ンデ

行シタラバ、所謂成ルベク短キ時間ヲ以テ必要ナル教育ヲ

施シ得ルカ、斯ウ云フ事ノ如キハ、國民トシテ又國家經濟ノ

上カラ申シマシテ、重大ナ問題デアリマシテ、今日迄ノ教育

難ナ事デアリマシテ、大體ニ於テハ小橋サンノ御話ノ通リニ

凡ソノ標準ヲ立シテ居リマス、例ヘバ經費ノ少イ商業學校ト

ク、或ハ女子ノ徒弟學校ト云フヤウナモノハ、設立者ノ負

擔ノ五分内外、ソレカラ工業學校アリリハ設立者ノ負擔が

多イカラ、一割二三分ノ見當アヤンテ居リマシテ、決シテ不

公平ノナイヤウニシタイト思ヒマス、併シ場合ニ依テハ、豫

算ノ關係モアリマスカラ、其標準ニ多少ノ斟酌ヲ加ヘルコ

トハアルノデアリマス、併ナガラ大體ハ小橋サンノ言ハレルヤ

ウニ、凡ソノ標準ヲ立シテ補助ヲヤンテ居リマス、斯ウ御諒解ヲ願ヒタノ次第アリマス

○委員長（横山寅一郎君）先刻齊藤サンカラ御話ノ大臣ガ御出席ニナリマシタガ――

○齊藤宇一郎君モウ一度質問ノ趣旨ヲ申シマス、現政

府ノ教育ノ設備ニ關スル御方針ハ、私共未ダ承ッタコトガ

ナシ、此前ノ議會ニ於テ文部大臣ハ、高等敎育機關ノ不足

ヲ感ズル、即チ學生ガ入學スルコトガ出來スシテ、大分失望

落膽、之ガ爲メニ危険思想マテモ胚胎シハセヌカ、サウ云フ虞

モアハシ、成ベク敎育ニ便宜ヲ與ヘナケレバナラスト云フ御

趣意ニ於テ、非常ナル大計畫ヲ御立テニナシテ、サウシテソレ

ガ所謂高等教育機關ノ一部テアリマシテ、全體ニ亘テノ

教育方針殊ニ最モ大切ナル所ノ國民敎育ニ對スル御方針

御抱負ト云フモノハ、未ダ承ッタコトガナシ、今誰方カラノ御

質問ニ對シテ、文部次官ノ御答辯ニ依レバ、將來ハ義務敎

育ヲ八年ニスル積リデアル、而シテ其中ニ實業敎育ニ義務

敎育モ施スト云フコトハ、將來ニ於テ必ず現實スベキ事デア

ラウ、斯ウ云フヤウナ御説明モ承ハシテアリマス、又世界

ノ義務敎育ノ年限ノ統計表ヲ見ルト、少クモ八年ニナシテ

居ル、日本モ世界ノ強國ノニナレバ、早晚八年ニシナケレ

バナラヌト云フヤウナ、頗ル簡單ナル說ヲ唱ヘテ居ル人モア

ルヤウデアリマス、然ルニ教育ノ年限及義務敎育ノ年限ノ

如キハ、ソシナ統計表ノ數字ガ平均何程ニナルト云フ、簡單

ナ問題デナイト私ナドハ思フノデアリマシテ、而モ八年ニシテ

見タ所デ、其中ノ六年ハドウ云フ教育ヲスル、加フル所ノ二

年ハドウ云フ教育ニスルト云フコトハ、重大ナル是ハ問題デ

アラウト思ヒマス、又各種ノ教育機關ガアリマスガ、苟モ國

民ガ子弟ヲ教育スル上ニ於テ、其如何ナル系統ヲ踏ンデ

行シタラバ、所謂成ルベク短キ時間ヲ以テ必要ナル教育ヲ

施シ得ルカ、斯ウ云フ事ノ如キハ、國民トシテ又國家經濟ノ

上カラ申シマシテ、重大ナ問題デアリマシテ、今日迄ノ教育

難ナ事デアリマシテ、大體ニ於テハ小橋サンノ御話ノ通リニ

凡ソノ標準ヲ立シテ居リマス、例ヘバ經費ノ少イ商業學校ト

ク、或ハ女子ノ徒弟學校ト云フヤウナモノハ、設立者ノ負

擔ノ五分内外、ソレカラ工業學校アリリハ設立者ノ負擔が

多イカラ、一割二三分ノ見當アヤンテ居リマシテ、決シテ不

公平ノナイヤウニシタイト思ヒマス、併シ場合ニ依テハ、豫

算ノ關係モアリマスカラ、其標準ニ多少ノ斟酌ヲ加ヘルコ

トハアルノデアリマス、併ナガラ大體ハ小橋サンノ言ハレルヤ

ウニ、凡ソノ標準ヲ立シテ補助ヲヤンテ居リマス、斯ウ御諒解ヲ願ヒタノ次第アリマス

○委員長（横山寅一郎君）先刻齊藤サンカラ御話ノ大臣ガ御出席ニナリマシタガ――

○齊藤宇一郎君モウ一度質問ノ趣旨ヲ申シマス、現政

府ノ教育ノ設備ニ關スル御方針ハ、私共未ダ承ッタコトガ

ナシ、此前ノ議會ニ於テ文部大臣ハ、高等敎育機關ノ不足

ヲ感ズル、即チ學生ガ入學スルコトガ出來スシテ、大分失望

落膽、之ガ爲メニ危険思想マテモ胚胎シハセヌカ、サウ云フ虞

モアハシ、成ベク敎育ニ便宜ヲ與ヘナケレバナラスト云フ御

趣意ニ於テ、非常ナル大計畫ヲ御立テニナシテ、サウシテソレ

ガ所謂高等教育機關ノ一部テアリマシテ、全體ニ亘テノ

教育方針殊ニ最モ大切ナル所ノ國民敎育ニ對スル御方針

御抱負ト云フモノハ、未ダ承ッタコトガナシ、今誰方カラノ

大體ノ御考ヲ承シテ居リマスレバ、吾々ハ此一部分タル所ノ御提案ノ實業教育補助費改正案ヲ議スル上ニ於テノミナラズ天下ノ多クノ者ク其邊ニ於テ、餘程迷シテ居ルノデアリマス、故ニ此機會ニ於テ御辯明下サレバ、多數ノ國民ガ満足ヲ致スデアリマセウシ、私共モ斯ウ云フ計畫ガ果シテドノ程度ニ於テ必要ナモノデアルカ若シ本當ニ必要ナモノデアルトスレバ、私共モ、モト大々的ノ計畫ヲ立テ、將來各小學校ノ義務教育ヲ二年延ベル、其二年ヲ本當ニ此日本ノ國民ガ——多數ノ國民ガ活動スル所ノ其實業教育ヲ爲スルノデアル、其準備トシテ補習學校ヲ今日カラ助成擴張シテ行ク爲メニ、斯ウ云フコトヲヤルノデアル、斯ウ云フコトデアレバ、茲ニ意義カ徹底シマシテ、果シテ然リトスレバ、國民ハ決シテ此所ニ金ヲ投ズルコトヲ吝ムモノナカラウ、今日各町村ノ小學校ノ狀態ナドヲ見マスルト、中々教育費ノ大ナルコトニ方針ヲ定メラレテ、先づ差當リ一千萬圓ヲ與ヘル、跡ハ財政ノ都合ニ依テ、漸次其希望ヲ容レルト云フ言明ノ下ニ、一千万圓ノ補助ヲ爲サレタ、其當時ノ二千萬圓ト云フモノハ、教員ノ俸給費ノ半額ト云フコトデ、衆議院ハ建議ヲ致シタノデアリマス、政府ハ之ヲ諒トサレテ居ルノデアリマス、然ルニ今日デハ最早半額ト申シマシテモ、四速力ヲ以テ増シテ居ルノデアリマス併ナカラ國民教育ノ事デアリマスカラシテ、各町村ハ忍シニ之ヲ費用ヲ授ジテ居ルノデアリマセウケレドモ、此經費ノ問題ニ就キマシテハ、國民ハ何ダカ政府ハ約束ヲ履行セズ、借金ヲ拂ヒテ吳レナイヤウナ感ショ持テ居ルト云フコトハ、是ハ隱レモナキ事實デバ、是ハ當然デアリマス、若シ是カ國策ノ上ニ於テスルノハ、是ハ當然デアラバ、國民ハ其考ヲ以テヤラナケレバナラヌ左モナケレバ他ノ方面ニ其金ヲ使フト云フコトハ、是ハ獎勵シテ、必ズ補習學校ヲ設ケサセルト云ヤウナコトニ獎勵スルノハ、是ハ當然デアリマス、若シ是カ國策ノ上ニ於テヲヘルカラシテト云フコトヲ申シマスルト、地方長官ハ必ずリマス、若シ果シテ將來ノ準備トシテ斯ウ云フ事ヲ助成シテ、各小學校ニ補習教育ヲ置カセルト云フコトニナリマスレバ、又此費用を餘程大キイモノアラウト思フ、政府カ補習ヲヘルカラシテト云フコトヲ申シマスルト、地方長官ハ必ずリマス、若シ果シテ將來ノ準備トシテ斯ウ云フ事ヲ助成シテ、各小學校ニ補習教育ヲ置カセルト云フコトニナリマスレバ、是ハ當然デアリマス、若シ是カ國策ノ上ニ於テ

ハ政府ノ大體ノ方針ヲ承リ、斯ノ如キ必要ガフルカラシテ、
今日斯ノ如ク金ヲ増シテヤル積リデアル、斯ノ如キモノハ斯
ノ如キ程度ノ學校テ一人前ニ勤ニナレ、ソレ以上ハ此所ニ
於テ斯ノ如クスルモノデアルト云フヤウナ明カナル系統ヲ示
サレ、サウシテ國民ヲ誘導シ、父兄モ青年モ越フ所ナク各、
分ニ應ジテ、國家ノ要求ト自分ノ立身ノ途ヲ立テルヤウニ
ナシタナラバ、教育上ノ效果ト云フモノハ、洵ニ是ハ著シク
テハ、官民共ニ甚ダ其結果ノ舉ラザルヲ憂ヘテ居ルノデアリ
マス、故ニ其主ナル原因ハ、私ハ國民ノ教育ノ仕方が徹底
シテ居ナイ、國家ノ抱負、國家ノ經綸、是等ガハキリシテ居
ラナイカラ、是ニ於テ非常ナル惑ニ生ジ、其間ニ色ニナル弊
害ガ起シテ來ルデアラウトスウ考ヘマスガ、更メテ大臣ニンコ
イラン點ヲ明ニ御辯明ヲ願ヒタイト云フノデ、私ハ御出席
ヲ要求シタノデアリマス

○國務大臣（中橋徳五郎君） 諸算委員會ニ參テ居リマ
シタノア、出席致シマセヌデシタガ、二度バカリ御呼寄セフ
願ツテ甚ダ濟ミマセヌ、此教育ノ全體ニ對シテノ御説明、實
ハ、昨年ノ議會、此春ノ議會ノ本會議ニ於テ、一度申上斧
タト記憶シテ居リマス、諸算委員會ニ於テモ極ク粗アリマ
シタケレドモ、貴族院ノ豫算委員會ニ於テモ申上ダタ積リ
デアリマス、當時ノ御話デハ、動モスルト云フト現政府ハ高
等機關ニ力ヲ用キテ、初等教育ニ力ヲ用キルコトガ薄イ、斯
ウ云フ御話ガ往々ニアタノデアリマス、其點ニ就テハ私ハ一
通り、當局ノ意思ノ在ル處、施設ヲ爲シツ、アル所ヲ申上ゲ
タイト思テ居リマシタガ、幸ニ唯今御尋ガ出マシテ、此機會
ニ大體ノ御話ヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、或ハ中ニハ重
複スル事モアリマセウ、ソレ段々御心配ヲサレテ、今日ノ
教育ノ效果舉ラズト仰セラレマスルガ、私ハ舉テ居ルト思
フ、是ハ此政府ノ力デモ何デモアリマセヌ、數代ノ内閣ガ維
新以來、教育ニ力ヲ用キラレタ結果ト思テ居ル次第デアリ
マス、併シ其遣方ガ何レノ行政ニシテモサウデアリマスガ、未
ダ整頓シテ居ナイ故ニ、モウ少し之ヲ整頓シ、今一層力ヲ用
キタナラバ、效果尙ホ舉ルト云フコトハ期シテ待ツベシト云
フ考ヲ持テ居ル次第デアリマス、其第一ノ缺點ハ、私共ノ
見テ居ルノハ、即チ教育家ノ鍛錬デアル、爲ニ初等ノ教育
機關ハ殖エテモ、ソレニ應ジテ中等ノモノハ相應スルダニニ
ナシテ居ナイ、半分位キノ程度シカ殖エテ居ナイ、下ノ方ガ非
常ニ急激ニ殖エ、又中等程度ノ教育機關ノ數ニ應ジテ、其
上ノ専門高等教育機關ハ極メテ缺乏シテ居ル、今日ノ如
キモ缺乏シテ居ル、段々設立シテ居ルケレドモ、中々希望者
ガ多イ、是ハ一ハ此二十年來上ノ方ノ教育機關ガ足ラナ
カタ、極メテ足ラナタゞト云フ上ニ、此戰爭ノ爲メニ國民

テ進行スル積リデアリマスガ、此初等ノ方ヲ八年制度ニシマシテ實行シマシタ曉ニハ、又ソレニ應シテ、中等程度ノ學校ノ組織ト云フニヲ變更シナケレバナラヌト云フノデ、調査ヲ致シテ居ル次第ニアリマス、如何ニシマスカ種々論ガアリマスガ、中學五年ヲ三年ニシテ宜イカモ知リマセヌ、補修學校ニシテモ其通りデアリマス、今日ハ尋常六年ヲ卒業シタル者ハ高等小學校ニ行ク、又一方ニハ補習教育ヲ受クテ居ルノデアリマスカラ、是ガ若シ八年全體行ク曉ニ於テハ、補修教育モ延ヒル、或ハ英國ノ如ク十七歳マデ行クト云フヤウナコトニ、將來ニ於テハシナケレバナラヌコトモ出來スルデアリマセウ、併シ今日ノ所デハ、直チニ八年制ニ明年ヨリスルトカ、明後年ニスルト云フヤウニハ考ヘテ居リマセヌ、效果期ハ明言シテ居ラヌノデスガ、三四四年ノ後ニハ、トウカサウ云フコトニシタイト云フ考ヲ持テ居リマス、其間ハドウシテモ從來カラ歷代ノ内閣が手ヲ附ケテ居ラル、補習教育ト云フモノガ、未タ旨クハイッテ居ラヌヤウデスガ、併シ相當ノ效果ハ舉ケテ居リマスカラ、之ヲ獎勵シテ行ケバ、段々效果提出シタヤウナ次第ニアリマス、御話ノ中ニ最モ敬服致シマガ多ク舉ルコトハ明瞭デアリマスカラ、從來ノ補習科ノ外シタノハドウカ國民ガ各々自分ノ分ニ應ジテ、ソレ相應ナルニシテ、補習教育ノ效果ヲ收メタイト云フコトニナルノガ、一番國家ノ健全トナル必要ナ事デアルト云フコトハ、洵ニ御同感デアリマス、サウニ云フヤウニ致シタイト云フノガ、私共ノ目的トシテ居ル所ニアリマス、然ルニ今日ハ悲シイ事ニ、教育制度ノ——教育機關が旨ク配置が出來ヌデ、幾分カ足ラヌモノデスカラ甚ダ混亂シテ居ル、今日ハ例ヘバ工業ノ中等程度デ受ケタイ者ガ、中等ニ這入レスデ、商業ノ方へ行クトカ、又中學へ行クベキ者ガ中學ニ這入レスデ、商業ニ行クト云フヤウナ混亂ガ非常ニ多イ、全國何所モサウデハアリマセヌガ、ソレガ色ニ思想界ニ惡影響ヲ及ホスコト、思テ居リマス、ソレデ經費ノ出所ハ色々ニ於テモ規定ガアテヤツテ居リマスカラ、當局ニ於テモ、初等、中等、及專門、高等ノ教育機關ニ對シテハ大ニ力ヲ用井テ、是ガ設備ノ完成及其效果ヲ舉ダルヤウニシタイト云フノデ、今日熱心ニ盡力致シテ居ル所ニアリマス、ソレデ最初ニハ大學令、高等學校令、中學校令ヲ改正シ、小學校令モ改正シ、昨日ハ高等女學校令ヲ改正シ、先ゾ是デ學令全體ノ改正ガ出來タスコト、思ヒマス、尙ホ御尋ニ對シテ御答致シマス

○齋藤宇一郎君 唯今大臣カラ國民教育ノ年限ハ、將來八年ニスル積リテアルト御述ニナリマシタガ、是ハ今日ノ劃一主義ノ形其儘ヲ以テ八年ニサル御考テアルカ、其増加スル所ノ一年ハ、所謂其地方ノ實情ニ依テ、之ヲ實業教育ヲ施ス年限トシテ、即チ義務教育ダケデ世ノ中ヘ出ル者ノハ、ソレデ一通リノ知識——職業ニ就ク端緒モ修メテ、出テ働く人間トシテ出スト云フヤウナ組織ニナサル御考テアリマスカ、是ハ地方ノ產業振興ノ上ニ於テ、此教育ノ遺り方ハ、非常ナ影響ヲ來スモノト思ヒマス、一例ヲ申シマスレバ農村ノ子弟ノ如キハ、八年ノ義務教育ヲ受ケルト致シマスト、丁度十五六歳ニナル、此十五六歳ト云フ年輩ガ、最モ習慣ヲ養ヒ、腕ヲ鍛ヘサセル大切な時期アリマス、此時期ヲ唯タ書物ヲ見テ居ルト云フコトニナリマスト、折角教育シタケレドモ、其等ハ農業ノ方ナドハ働くナクナッテ、父ガ却テ後悔スルヤウナ人間ヲ造り出シタ上云フ例ハ少クナイ、是ニ於テ從來農村ナドアハ八年モ抑ヘラレテハ大變ダト云フ議論ガ決シテ少クナイノデス、故ニ是等ニ對シテハ、嘗テ文部省ノ樞要ノ位置ニ居ラル、方ガ、其地方ノ事情ニ依テハ、實業教育ニシテ然ルベキモノデアルト云フ意味ノ話モアタコトヲ、新聞等ニ於テ見タコトガアル、果シテ今日ニ於テモサウ云フ御方針ア御考ニナッテ居リマスカ、是ハ地方ノ經濟ト教育ノ關係上重大ナル問題アリマスカラ、更ニ大臣ノ御考ヲ承テ置キタイ

○國務大臣(中橋徳五郎君) 唯今ノ御尋ハ丁度當局ノ考ヘテ居ル事ト云テ宜カラウト思ヒマス、併シ是ハ愈々、何時頃カラト云フコトニナルト、ソレ相應内輪ノ相談ヲ纏メナケレバナリマセヌ又ガ、ソコマデ順序ガ運ンデ居リマセヌ、タレドモ大體ハ今日ノ教育ノ初等教育モ、從來ノ劃一主義ヲ廢シテ、各地方ニ依テ、適宜ニ教育スルヤウニシテ行キタイト云フコトハ、昨年ノ暮ニ發布致シマシタ、小學校令ノ改正ナリ、又昨年ノ春ソレニ從テ文部省令施行規則ヲ改正シテ、勿論本省トシテハ劃一主義ヲヤリタクナイノデアリマス、從來ノ長イ習慣デアリマスカラ、此習慣ヲ破壊テ劃一主義ヲ廢メテ、各地ノ實情ニ應ジテ行ク、サウ云フ改良マデニハ相當ノ時間ガ要ルト思ヒマスガ、サウ云フコトニナッテ居リマスカラ、毎年學校主事及視學官等ヲ地方カラ召集スル際ニモ、其趣意ヲ以テ詰ヲスルコトニナッテ、段々其方ニ向ケテ行クヤウニナッテ居リマス、ソコデ此度ノ八年制ト云フコトハ、歐羅巴ノ方ノ教育家連中ハ、今ノ六年義務教育ト云フコトデハ、西洋ニ負ケルト云フヤウナ論者ガアルガ、其方ノ考ハシテ居ラヌノデス、故ニ是ハ豫メ自分一個人ノ議論トシテ申上げテ置イテ宜カラウト思ヒマスガ、今度實行スル時ニハ、歐羅巴ノ方ノ教育家連中ハ、今ノ六年義務教育ト云フコトカノ有ル市町村カラ實行シテ見タイト思ヒマス、劃一主義

長崎マデ一時ニヤルト云フコトテナク、免三角貧弱ナ町村ニ
對シテハ無理ガ出來マスカラ、詰ハ何方ニ纏ルカ分リマセヌ
ガ、私共ノ考デハ、實行ニ著手スルトキハ漸次獎勵ヲ致シ、割
一ニ全國一時ニヤルコトハシナイ積リデアリマス、ソレカラ其
教育スル科目ハドウデアルカ、算ヘ年五十歳デ出ルノデス
カラ、社會ニ出テモ相應役ニ立ツ、直ニ役ニ立ツヤウナ事
柄ヲ教ヘルカドウカト云フ御話デスガ、是モ御尤デアリマス、
是非之ヲ延ス以上ハ、上ノ方へ來レバ、今日補習教育デヤッ
テ居ルヤウナ、實際ニ必要ナ事ヲ加味セネバナラスト云フ考
ヲ持テ居リマス、是ハ文部省ノドナタケ語サレタカ、先程御
話シガアリマシタガ、今日多クサウ云フ考ヲ持ンテ居リマス、
ドウカ學校ヲ出テカラ、役ニ立ツヤウニシテ行キタイト云フ
考デ、各々地方ニ依テ科目ノ制度ヲ變ヘテ、ソレニ應ジタモ
ノヲヤリタイト云フ考デアリマス

ヤウニ願ヒマ久

○三善清之君　此案ニ就キマシテハ、大體諸君ノ御質問等教育及高等教育ニ關スル學生、及其等ノ教員ノ補充、或ハ其待遇等ニ就フ御尋申シタイト思ヒマス、學生問題デゴザイマスカラ、私ハ簡単ニ御尋申シタイト思ヒマフ、ソレハ中ス、其試験ノ程度ハ中學四年ヲ修了シタ程度ヲ以テ試験ヲシテ、高等學校ノ入學ヲ許スコトニナッテ居リマス、ソコデ其落第ヲ致シタ生徒ハ、今度五年ヲヤラナケレバナラヌ、五年ノ課程ヲヤシテ、サウシテ更ニ高等學校ノ試験ニハ四年ノ持餘シテ居ルト云フコトニアリマス、是ハ如何ナルモノアリマセウ、之ヲ五年修了ノ程度ニ於テ試験ヲシテ入レルト云中學ニ於テ五年生ガ急ヶテ、一向五年ノ教科目ニ力コ入レズニ、四年ノ復習デモヤルト云フヤウナ有様デ、各中學ハ科目ヲ學ブト云フコトニナラウト思ヒマスガ、兎ニ角非常ニ居ツテ居ルト云フコトニアリマスガ、之ニ就テノ文部省ノ御方針ヲ伺ヒタイト思ヒマス、次ニ高等學校ナリ中學校ナドハ、段々増設致シマスルニ就テ教員が非常ニ缺乏ヲ來シテ居ル、即チ此議案ヲ見ルニ、是等ノ補充ノ爲メニ、九年度ニ於テ十七万幾ラト云フ金ヲ計上シテ居リマスガ、是デ十分デアルト云フ御見込デアルカ、吾ニノ考テハ足ラヌヤウニ思ヒマスガ、此點ニ就テモ御尋致シタイト思ヒマス、第三ハ教員待遇ノ事デアリマス、是ハ中學校教員或ハ高等學校ノ教員ハ、多クハ奏任ノ待遇デアラウト思ヒマスガ、是モ待遇が低イ、之ヲ今少シク待遇ヲ良クスルノガ、教員ヲ勵ゲマス上ニ於テ得策デアラウト思フノアリマス、併シ是ハ經費ノ上ニ關係ヲ持ツコトニアリマスカラ、一概ニ參リマスマイケレドモ、御方針ハドウデアルカ之ヲ伺ヒタイ、第四ハ督學官及視學官ノ人ニ、是等ニ就テモ少シク改正ニナラナケレバナラヌト思ヒマス、是ハ大學ヲ卒業シタバカリノ若イ所ノ學士等ノ督學官、或ハ視學官等モアルヤウデアリマスガ、何分實地ニ經驗ガ無イ故ニ困ル事ガアルノデ、是ハ矢張多數中學其他ニ從事致シタ者ヲ御使ヒニナルヤウニ、御改正ニナックラ宜カラウト思ヒマスガ、御方針ヲ伺ヒタイ

○國務大臣（中橋德五郎君）　此中等學校ノ事ニ就テ御尋デアリマシタガ、昨年一一昨年ノ暮ニ出シマシタ中學校令ノ改正ニ依リマシテ、高等學校ノ試験ヲ受ケル四年ノ者ノ爲メニ、昨年ノ入學期ニ於テ、又今年ノ入學期ニ於テ、中等教育ニ從事スル教育家諸君ノ頭ヲ惱ミシナハ、大變ナモナゲ、私モ其頭ヲ惱メシタ一人アリマス、此制度ハ殆ト十

幾年來、日本ノ教育家連中ガ寄合テ研究ノ結果出来タノアルカラ、先ツ實施ヲシテ見タノアリマス、ソレカラ昨年及今年ハ、高等學校タケハ試験ヲ七月ニシテ、他ノ専門學校ハ四月ニ試験ヲスル、斯ウ云フ事ニナッテ試験ノ期限ガ違テ居合テ、一方ハ五年卒業ノ者ノ入學試験、一方ハ四年卒業以上デ宜シイト云フコトデアルカラ、稍、混亂ヲ來シタム云フコトデアリマスガ、其中ノ一方ダケハ、來年ハ入ルコトガ出來ヤウト思ツテ居リマス、ト云フノハ入學期ヲ總テ四月三スルコトニ、來年ノ四月カラ實行スル積リデアリマス、サウスルト四月カラ九月迄ノ期間ハ短縮スル譯デアリマス、ソレカラ爲メニ今回提出シタ豫算ノ中ニモ、五十万圓許リ、經濟ヲ要求シテ居ルノデアル、大學ニ關係ルモノガ約四十二万圓、高等中學ノ試験ヲ繰上ゲル爲メノ準備費ニ九万圓許リヲ計上シテ居リマス、是ガ實行ガ出來ルト、此所ノ狀況ガ大變違テ來ルト思ヒマス、ヤント去年カラ實行シタモノヲ、今直ニ勅令ヲ以テ四年ニシテシマウノモドウカト言ツテ虞メテシマッテ、五年ニスルト云フコトモドウカ、是ハモウ少シ經驗シタ方ガ宜カラウト思フノデアリマス、又昨年モ全國ノ中學校長會議ヲ召集シタ際ニモ、色ニ研究ヲシタノデアリマスガ所ガ中學校ニ依テ大變模様ガ違テ居ルノデアリマス、都會就中東京ノ中學校ハ一種特別デアッテ、地方トハ全ク性質ガ共通シナイ、其次ニハ京都、大阪等ノ大都會ノ中學校ハ、ソレカラ教員ノ不足ノ御話デアリマスガ、是ハ昨年ハ一番缺乏ヲ感ジマシタ、今年モ恐ラクサウデアリマセウガ、此頃ハ高等學校以上ノ學校ノ教官ハ大變工合ガ宜イ、良イ人ガ出テ來ル、決シテ不足ハ感ジテ居リマセヌ、又質モ良イ人ガ出テ來ルヤウデアリマス、財界ノ不況ノ爲メニ、各會社デ人ヲ出ス結果デアルカドウカ知ラヌガ、非常ニ人々得易クナリ、又中學校カラモ引上げテ來ル、引上ゲルト中等程度ノ學校ハ困リマスケレドモ、上ニ進ム路が開クカラ下ノ人々奮發シマスシ、又等級ノ希望者ガ殖エル、又高等學校ノ入學試験ヲ受クル者モ、文科ヲ希望スル者ガ殖エルト云フ工合デ、大部分遷ブ來シテ居ルノデアリマス、唯ダグ困ルノハ理科ノ教員モアリマシタケレドモ、大抵實行ガ出來タノデ、今ノ所アハ手當ヲ入れテ全國平均千二百圓ヲ超エテ居リマス、ソレニ今度ハ物價ガ下落シタノデ、ソレデ様子ヲ見ヤウト云フノデ、官吏ト同様ニ、手當ヲ増サシテ居リマスガ、中ニハ無理ナ所

スノデ、勅令案モ何モ出來テ居リマスカラ……サウスルト中等教員ノ方モ何トカ致シタイト思ツテ居リマス、其上ニ物價ガ段々下リマスレバ、相當ノ程度ノモノニナラウト思ヒマス○八木逸郎君 大分良イ質問モ出マシタカラ絶対トハ申シマセヌガ、大體ニ於テ質問ハ打切ツテ、次ノ會議ニハ討論ニ入ルコトニ致シタイト思ヒマス

〔「異議アリ」文部大臣ガ御出席下サルコトガ出來レバソレデモ宜シイガ……ト呼フ者アリ〕

○淺賀長兵衛君 唯今中等教育ノ事ニ就テ、大臣ヨリ色御説明ガアリマシタガ、洵ニ遺憾ニ堪ヘナインハ、中等教育ノ中ニモ、私立學校ニ對ニテハ、何等此方面ノ進歩改善ヲ圖ル上ニ必要ナル補助ヲ其儘ニ打捨テ、アル、此點ニ就テ大臣ハ如何ナル御意見ガアルカ、之ヲ御答辯ヲ願ヒタイ○國務大臣(中橋徳五郎君) 此點ニ就テハ、全國ノ中等教育ニ當ル御方カラ御研究ガアツテ、私立學校、就中東京ニハ私立學校ガ三十校カラアル、是ハ昨年以來餘程困難ヲ感ジテ居ラレル、一面ニハ初等教育 中等教育ノ教員ノ待遇ヲ向上シナケレバナラヌト云フコトハ、官民共ニ熱心ニ唱ヘテ之ヲ實行シタノデアリマフ、之ヲ實行スルト直チニ私立中學校ニ是ガ及シテ來テ、私立中學校ガ職業的デナクシテ、本當ニ有志ガ寄ツテ、相當ノ資力ヲ集メテ設備ガ行届イテ居ルモノハ少シモ苦情ハアリマセヌ、多クハ授業料ヲ以テ經濟ヲ立テ、居ル學校ガ多イカラ、ソコデ困難ヲ來シテ居ルト云フ實況デアリマス、私ハ其話ヲ聞クト辛抱セヨ、勉強ナサイト言ツテ居ル、自分ノ方ノ資金ヲ募集フヤッタラ、相當ニヤレル、其方ノ御勉強が足ラナイ、授業料ヲ上げナサヽ、私共ノ方アハ相當認可ヲ與ヘヤウ、此ニツガ捷徑デアルハ申シテ居ルノデアル、ソレデ昨年ノ暮ノ縣會ニ於テハ、兵庫縣ノ如キハ私共既ニ詰ラシテ、私立ノモノヲ大分公立ニ變ヘサシタ、何ガ遅レテ居ルカト云フト、教育ノ制度ガ一番遅レテ居ル、ソレニカラ十分ニ用ヰナイノハ、私立ガ盛デアルカラマア宜ラウト斯ウ云フ事デアリマセウ、ソレダ今回ノ財界ノ不況ニ遭遇シタカラ、困難スルコトニナランデ、補助サヘ出シタラ宜ノデアルソレデ或ル部分マデ出スコトニナタノデアリマスカラ、之ヲ奮發シテ貴へバ一番確ニナルノデス、然ラザレバ東京府デハ府立ノ學校ヲ二三十校モ造ラナケレバ足リナイ程デアルノニ、今日ハ唯ダ四校シカナ一、他縣カラ較ベテ非常ノ懸隔ガアリマス、私立ガ宜シイト云フナラバ、之ニ補助スルコトニシタラ宜カラウト思フノデアリマス○松下禎二君 教員養成費ニ就テ一寸伺ヒタイカ、段々中學校ノ教員養成ニ就テハ承リマシタガ、大學ノ教授ノ養成、其他専門學校ノ教授ノ養成ト云フコトニ就テハ、如何ナル方針ヲ御執リニナツテ居リマセウカ、高級ノ學校ノ教員ハ、

現在不足シテ居ル所モアルシ、又員數ハ充チテ居ラモ、其一

タイト思ヒマス

ノ任ニ堪ヘナイト云フ評判ガアル人モ決シテ尠クナイト思ヒマス、或學校ニ於キマシテハ、其半數ハ老朽、或ハ無能ト云ハレル所モアル、併ナガラ之ヲ取替ヘル、即チ淘汰シ、更ニ新ラシイ教授ヲ入ル、ト云フダケノ準備ハシテナイヤウニ思フ、又大學ニ於キマシテハ、既成品未成品ト云フ言葉ガアル、是ハ文部省ニ於テサウ云フ御方針デアルガ如ク傳ヘテ居リマスガ、ソレハ眞デアルヤ否ヤト云フコトハ分リマセヌガ、歐羅巴ニ行シテ來タ者ハ既成品デ直グ教授ニナレルカ、歐羅巴ニ行シテ來ナケレバ、如何ニ學力ガアツテモ未成品デアツテ、教授ニナル資格ガ無イト云フコトヲ言シテ居ル人モアリ

マス私ナド大學ニ居リマシタ時分、常ニサウ云フ事ハ困ルト云フ考デ、日本ニ居シテモ十分ニ教授ニナリ得ル者ガアル、ソレダケノ實力ノアル人ガ、澤山アルト思フノアリマス、ソレデ教授ヲ養成スルハ如何ナル點マデヤルノアリカ、人間ハ何時病氣ニナルカ、死ヌカ判ラヌ故ニ、不時ノ備ガナクレバナラヌ然ルニ今日ノ所一人ノ教授ガ缺ケルト、直ナニ後任者ニ困ルト云フ現狀デアリマス、現ニ私ガ大學ヲ引キマシ

テ、其後任ニ於テモ困シテ居ルト云フ位デアル、若モ所謂未成品ヲ許サレルナラバ、立派ナ人間ガ幾ラモ居ル、併シ彼ハ歐羅巴ニ行シタコトガナイト云フノア、直グ後任者ニナレナイト云フコトデアル、歐羅巴ニ一年ヤ二年行シタカラトテ、決シ

テサウエラクナルモノデナイ、弟日本ノ學問ハ歐羅巴——歐米ニ比シテ決シテ劣シタモノデナイ、或ル學科ノ如キハ、歐米ニ於ケルヨリ尙ホ優シテ居ラモ、劣ラスト云フモノガアルノアリ

ト云フコトデアル、歐羅巴ニ一年ヤ二年行シタカラトテ、決シテサウエラクナルモノデナイ、弟日本ノ學問ハ歐羅巴——歐

米ニ比シテ決シテ劣シタモノノアリマス、併シ種々困難ノ事ガ

ト云フコトデアル、歐羅巴ニ一年ヤ二年行シタカラトテ、決シテサウエラクナルモノデナイ、弟日本ノ學問ハ歐羅巴——歐

米ニ比シテ決シテ劣シタモノノアリマス、併シ種々困難ノ事ガ

ト云フコトデアル、歐羅巴ニ一年ヤ二年行シタカラトテ、決シテサウエラクナルモノデナイ、弟日本ノ學問ハ歐羅巴——歐

米ニ比シテ決シテ劣シタモノノアリマス、併シ種々困難ノ事ガ

ト云フコトデアル、歐羅巴ニ一年ヤ二年行シタカラトテ、決シテサウエラクナルモノデナイ、弟日本ノ學問ハ歐羅巴——歐

米ニ比シテ決シテ劣シタモノノアリマス、併シ種々困難ノ事ガ

ト云フコトデアル、歐羅巴ニ一年ヤ二年行シタカラトテ、決シテサウエラクナルモノデナイ、弟日本ノ學問ハ歐羅巴——歐

米ニ比シテ決シテ劣シタモノノアリマス、併シ種々困難ノ事ガ

ト云フコトデアル、歐羅巴ニ一年ヤ二年行シタカラトテ、決シテサウエラクナルモノデナイ、弟日本ノ學問ハ歐羅巴——歐

ト云フコトモアリマセウカ、經費ガ一番ノ關係デアリマス、之ニ就方針ハ執テ居リマセヌノアリマス、ソレカラ豫備ヲ置クコトハ希望デアリマス、希望デアリマスガ、今日マダシレマデノ程度ニ參シテ居リマスガ、主トシテ大學ノ方デ相談シテヤルノコトモアリマスカラ、大學ノ方ニアルノデ、本省トシテハサウ云フ

方針ハ執テ居リマセヌノアリマス、ソレカラ豫備ヲ置クコトハ希望デアリマス、希望デアリマスガ、今日マダシレマデノ程度ニ參シテ居リマスガ、主トシテ大學ノ方デ相談シテヤルノコトモアリマスカラ、大學ノ方ニアルノデ、本省トシテハサウ云フ

シャンタノアリマス、復タ復タ煩メノモ何デスカラ、暫ク御

辛抱ヲ願シテ、モウ一ツダク……

○高柳淳之助君 私ハ茨城縣選出ノ代議士デアリマシテ、豫テノ尼港ノ弔慰會ノ時ニ出席シマシタ、其時ニ茨城ノ

縣會議員ガ大部分宿屋ニ泊テ居ラ、ソコノ吾々ガ今度代能ク御承知ノ事ト思ヒマスガ、決シテサウ云フコトハナイト思ヒマス(松下君アリマス)ト呼フアレハ任命ハ文部省ノ

方カラ出テ居リマスガ、主トシテ大學ノ方デ相談シテヤルノコトモアリマスカラ、大學ノ方ニアルノデ、本省トシテハサウ云フ

方針ハ執テ居リマセヌノアリマス、ソレカラ豫備ヲ置クコトハ希望デアリマス、希望デアリマスガ、今日マダシレマデノ程度ニ參シテ居リマセヌト、云フノハ、是モ人材ガ少ナイト云

フコトモアリマセウカ、經費ガ一番ノ關係デアリマス、之ニ就方針ハ執テ居リマセヌノアリマス、ソレカラ豫備ヲ置クコトハ希望デアリマス、希望デアリマスガ、此中三分ノ一許リハ、大學ノ教授ノ養成費ヲ四百萬圓モ見積リマシタガ、後トガ直グ困ルト云フ状態デアリマスカラ、是ハ是非造ルヤウト思ヒマス、併シ今

度ニ參シテ居リマセヌト、云フノハ、是モ人材ガ少ナイト云

トニ就テハ今度司法官ノ方ニハアルト云フコトデアリマス、之ニ就テハ何レ御質問ガアルサウデアリマスカラ、大學ニ就テモ種々攻究シテ居リマス、併シ種々困難ノ事ガ

イデ、是モ何トカ考ヘテ見マセウ、ソレカラ危険思想ノ事テアリマスガ、之ニ就テハ何レ御質問ガアルサウデアリマスカラ、大學ニ就テモ種々攻究シテ居リマス、併シ種々困難ノ事ガ

イデ、是モ何トカ考ヘテ見マセウ、ソレカラ危険思想ノ事テアリマスガ、之ニ就テハ何レ御質問ガアルサウデアリマスカラ、大學ニ就テモ種々攻究シテ居リマス、併シ種々困難ノ事ガ

イデ、是モ何トカ考ヘテ見マセウ、ソレカラ危険思想ノ事テアリマスガ、之ニ就テハ何レ御質問ガアルサウデアリマスカラ、大學ニ就テモ種々攻究シテ居リマス、併シ種々困難ノ事ガ

イデ、是モ何トカ考ヘテ見マセウ、ソレカラ危険思想ノ事テアリマスガ、之ニ就テハ何レ御質問ガアルサウデアリマスカラ、大學ニ就テモ種々攻究シテ居リマス、併シ種々困難ノ事ガ

イデ、是モ何トカ考ヘテ見マセウ、ソレカラ危険思想ノ事テアリマスガ、之ニ就テハ何レ御質問ガアルサウデアリマスカラ、大學ニ就テモ種々攻究シテ居リマス、併シ種々困難ノ事ガ

イデ、是モ何トカ考ヘテ見マセウ、ソレカラ危険思想ノ事テアリマスガ、之ニ就テハ何レ御質問ガアルサウデアリマスカラ、大學ニ就テモ種々攻究シテ居リマス、併シ種々困難ノ事ガ

好イ事ト思ヒマス、モウ一ツ町村ノ教育費ヲ國庫支辨ニスルノ必要トシテハ、若シ學校デモ焼ケタ時ヲ御覽ナサイ、中學校ヲ建テルコトが出來ナイ併ナガラ是モ國庫ノ負擔トシテ置ケバ、丁度火災保險會社ガ火災ノ保險ヲシテ居ルヤウニ、他ノ教育費ノ中デ融通ガ付イテ、苦マズシテ校金ノ新築モ増築モ出來ルト云フ便宜ガアル、ソレガ爲メニ國庫ヨリ各町村ノ教育費ヲ支出スルコトが必要ナ事ト考ヘマスガ、其邊ニ對シテノ別ニ關係ナイ事デアリマスカ、文部大臣ノ先程ノ御説明モアリマシタカラ、一應御意言ヲ伺フテ置キマス

○國務大臣(中橋德五郎君) 唯今茨城ノ御話ナドガアリマシテ、國庫補助ノ支出ノ方ヲ成ルベク多額ノモノヲ、補習教育ニ支出スルヤウニト云フ御希望デアリマシタガ、今回ハ年額三十万圓、即チ半年分デアリマスカラ、十五万圓デアリマスガ、全部教員——教員養成ノ方へ支出スル積リデアリマス、サウ云フ事ニナッテ居リマス、丁度御希望ニ合シテ居リマス、ソレカラ小學校ノ——初等教育費ノ國庫負擔ノ事を御話ノ通リデアリマス、唯タ全額ヲ言ツタノデ、ソレハ國庫ガ拂フカ、市町村ガ拂フカ、サウ云フ金額ニナッテ居ルト云フコトヲ言フノデアリマス、孰レニツラドツチカ取ルノデアリマスカラソレハ御話ノ通りデス

○志賀和多利君 私ハ先程實ハ文部大臣ガマダ御出ニナリマセヌデシタカラ、質問ハ次會ニ緩リト云フ積リデアリマシタガ、唯今御出席下サレマシテ、既ニ皆サンノ御質問ガアリマシタカラ、質問ハ是デ打切りマシテ、次會ハ討論ト云フコトニ致シタイト思ヒマス、仍テ質問終結ヲ願ヒタイ○齊藤宇一郎君 先例ニ依テ、若シ決議ニ必要ナル質問デモアリマスレバ、矢張此次ニモ簡單ノ質問ハ御許シニナルコトヲ願ヒマス、絶對ニソレモ出來ヌト云フコトデハ、餘リ窮屈ニナリマスカラ……

○委員長(横山寅一郎君) 今齊藤君ノ御話デアリマスガ、サウ云フ意味デ、ソレデハ今日ハ是レダケニ致シマシテ、次回ハ公報ヲ以テ御知ラセ致シマス

午後零時二十二分散會

大正九年七月八日印刷

大正九年七月九日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局